

# ライセンスの考え方

本サービスを利用するには、基本ライセンスが必要になります。  
基本ライセンスでは不足する場合、必要な数の追加ライセンスをご購入ください。

本サービスでは、スケジュールに定義を追加し、その定義が稼働中の場合に1ライセンスを使用します。  
スケジュールの定義を無効化することでライセンスを再利用することができます。

スケジュール定義には、即時実行、スケジュール実行、定期実行の3種類があります。

種類	説明
即時実行	即時実行とは登録した時点でタスクを開始することを示します。
スケジュール実行	スケジュール実行とはタスクを開始する次回時刻を指定することを示します。(1回のみ)
定期実行	定期実行とはタスクを開始する周期を指定することを示します。

## ライセンスとスケジュール定義を組み合わせた考え方

スケジュール定義のそれぞれにおいてライセンスがどう働くかご説明します。

### ①即時実行の場合

即時実行を行う場合、1つ以上の使用していないライセンスが必要になります。  
即時実行の場合は、スケジュール定義に即時実行をする定義が追加になり、  
タスクが動いている間、そのスケジュール定義は稼働中になります。  
タスクが完了するとライセンスが解放されます。

### ②スケジュール実行の場合

スケジュール実行を行う場合、1つ以上の使用していないライセンスが必要になります。  
スケジュール実行では、次回実行のタイミングを指定しますが、次回実行までの待ち時間から  
タスクが完了するまでの間、1ライセンスが必要になります。  
タスクが完了するとライセンスが解放されます。

### ③定期実行の場合

定期実行を行う場合、1つ以上の使用していないライセンスが必要になります。  
定期実行では、定義を有効化する期間を指定することができます。  
期間を指定した場合、期間が過ぎるまで1ライセンスが必要になります。  
期間を指定せず無期限とした場合、手動で停止するまで1ライセンスが必要になります。  
いずれも無効化され場合に1ライセンスが解放されます。

## 用語の定義

用語	説明
ジョブ	タスクの実行タイミングを定義することを示す。(スケジュール定義と同義)
タスク	バックエンドスクリプトを示す。